# 環境創造センター調査研究計画(フェーズ2)について

県民が将来にわたり安全に安心して生活する環境の実現にむけて、**環境動態・環境創造** に重きをおいた調査研究の推進へ

## 放射線計測

### 分析・測定技術の開発

モニタリング等に活用するための 放射性物質の分析・測定法の研究

放射性物質分析技術の高度化

避難指示区域における詳細な線量評価手法 の確立と経時変化の解析

#### 被ばく線量等の評価手法・モデル開発

モニタリング結果の 評価・活用に関する研究

放射性物質の環境動態を考慮した 被ばく解析評価ツールの開発・整備

コケ等の特性を活かした 放射性物質の沈着・飛散挙動評価

生活圏における放射性物質のばく露評価

### 計測技術活用

計測技術活用 被ばく評価

## 環境動態

## 移行挙動評価

水域における環境動態及び水産物への 放射性物質の移行挙動に関する研究

> 流域スケールでの生物利用性 放射性セシウムの動態解明

放射性セシウムの生物移行 特性評価と将来予測

#### 移行モデル

陸水域動態モデルの開発

福島の環境影響評価を総合的に行う 包括的評価システムの整備

流域圏における多媒体環境モデリング

放射性物質

## の挙動把握

環境回復のための 除染シミュレーションに基づいた除染支援 「除染活動支援システム」の適用性確認と高精度化

除染・廃棄物

除染等に関する継続的な技術支援

放射性物質対策の効果持続性の把握

除去土壌等の保管等に係る 適正管理手法の確立

#### 廃棄物等の適正処理・再生利用技術の確立

廃棄物の処理における 放射性物質等の適正管理手法の確立

> 放射性物質を含む廃棄物等の 減容化技術の開発・高度化

廃棄物処理施設等における 放射線影響についての安全性評価

資源循環・廃棄物処理過程における プロー・ストックの適正化技術と管理手法の確立

低汚染廃棄物等の最終処分及び除去土壌等の 中間貯蔵プロセスの適正化と長期管理手法」

## 環境影響の正確な把握と県民等への発信

計測技術活用 被ばく評価

物質収支把握 森林環境情報 情報発信

生態系研究

廃棄物処理マネジメント

再生可能エネルギ·環境回復、資源循環・環境再生の推進 リスコミ・情報発信

## 環境創造

県民の安全・安心に関するニーズへの貢献

## 持続可能な地域づくり -----

生活・環境・産業が調和した 将来復興ビジョン構築

地域環境資源を活かした まちづくり拠点の創出

バイオマスを利用した 環境創生型地域づくり

## 自然豊かなくらしの実現 ---

豊かな自然のための生態系管理手法開発

猪苗代湖の水環境に関する研究

・国際機関

## 強靱な社会づくり ・-----

固相-核種相互作用及び

Cs捕捉・吸脱着メカニズム解明

森林域における環境動態及び林産物

放射性核種の環境中における移行挙動

の実態把握及び将来予測に関する研究

生態系への影響把握

野生動物に対する原子力

発電所事故の影響に関する研究

生態系の実態把握と回復研究

放射線等の生物影響評価

の放射性物質の移行挙動に関する研究

災害廃棄物の統合的マネジメント システムの構築

災害に伴う環境・健康リスクの 管理戦略

### 統合イノベーションの創出

環境情報技術を活用した 地域環境創生支援手法の開発

地域環境創生に向けた 社会コミュニケーション手法及び ヤパシティ・ビルディング手法の開発

正確な情報の効果的な 発信のあり方に関する研究

## 安全で安心した暮らしの実現、地域循環共生圏の創造

## 他事業との連携

- ・モニタリング事業
- 情報収集・発信事業
- ・教育・研修・交流事業

研究成果の展開

国内外に向けた成果の発信 等

- 大学等研究機関 福島大学、京都大学、東京大学、東日本国際大、東北大学、筑波大学、弘前大学、 産総研、放医研、森林総研、農研機構、日本大学、県立医大 等
- ・国、市町村 内閣府、環境省 等

IAEA 等

· 県 本庁関係課室、試験研究機関(内水面水産試験場、 農業総合センター、ハイテクプラザ) 等

関係機関との連携







